

総合的な学習の時間

レポート提出回数 **3** 単位数 **3**

<生活・文化コース>

必要面接時数 **3** 開講時数 **6**

1. 学習の目標

身近な自らの置かれている状況について見つめ直すことを通して、正しく自己を認識し、今後どのように生きていくかについて考察できるようにする。具体的には、衣食住といった生活全般や郷土の文化や歴史に直接触れ、それぞれ興味に従ってテーマを決め、詳細なレポートを作成する。

2. 年間学習計画と評価方法

月	スクーリング内容	レポート		備考(レポートについて)
		回数	期限	
4月	4/28 ガイダンス(アンケートに答える形式) ・生活(衣食住)、文化(地域の文化・歴史)どちらにテーマを置くか決定する。			レポート用紙配布
5月	5/12 第1回フィールドワーク(2時間連続) (松阪市内歴史文化施設見学) ・本居宣長記念館 ・松阪市商人の館 ・松阪市はにわ館 いずれかを訪問。			
6月	6/2 6月入学生に対するガイダンス。 レポート配布。	1	6/28	第1回目のレポート提出期限 (テーマの設定とその理由 研究内容など学習計画作成)
7月				
8月				
9月	9/1 施設見学報告 5月の施設見学または各自で訪れた施設について、報告したり検討したりする。	2	9/5	第2回目のレポート提出期限 施設見学見学内容報告 研究の途中経過報告
10月				
11月	11/17 第2回フィールドワーク 松阪高校周辺の遺跡等などの散策。 (古墳・寺社・旧街道)			
12月	12/1 研究・調査のまとめ 第3回目のレポートを完成・提出、報告。	3	12/5	第3回目のレポート提出期限。 各自の設定したテーマについての研究のまとめ。 レポート終了者については、報告・紹介を行う。
1月				
2月				
3月				

3. 評価の観点

5段階評価は行わず、合格(認定)または不合格(不認定)で示し、文章で評価します。
評価にあたっては、研究課題に対する前向きな学習の姿勢を重視し、「身近なことへの関心」「課題を発見する力」「課題を解決する力」「自己を表現する力」「情報を収集、整理し、まとめる力」「自己の生き方への考察」や、その他各コースの特徴に応じて定めた観点に従い、特に優れた部分を評価します。